

■平成26年度 指定管理者年度評価表

施設名称	河内長野市立市民総合体育館、他12施設		
指定管理者名	特定非営利活動法人 河内長野市総合スポーツ振興会		
対象期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日	担当課	文化・スポーツ振興課

評価項目		評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	○
	使用時間、使用日、使用期間は遵守されているか。	○
	利用者への広報は情報提供として適切に行われているか。	△
	使用者の安全は確保されているか。	○
	使用の承認、案内等は適切かつ迅速に行われているか、また接遇は適切に行われているか。	○
	施設の使用率は適正な水準にあるか。	○
	指定管理者が行った事業は、市民サービスの向上に役立っているか。	○
施設等の維持管理	建物躯体及び設備機器の保守管理・安全確認等は適切に行われているか。	○
	施設の修繕等は市と協議の上、適切に行われているか。	◎
	備品等の管理は適切に行われているか。	○
	グラウンド等の整備は迅速に行われているか。	△
	清掃業務、警備業務、衛生管理は適切に行われているか。	○
その他	サービス提供及び施設の維持管理のため、適正な人員が配置されているか。	○
	苦情等の対応は迅速かつ適切に行われているか、また市に迅速に報告しているか。	△
	施設の設置目的に関連する団体等の協力・連携は図られているか。	○
	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切に行われているか、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練は適切に行われているか。	○
	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切に行われているか。	○
	使用料、利用料金の取扱は適切に行われているか。	○
	賠償保険に加入しているか。	○
	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	○
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、また、外部委託に過度にシフトしていないか。	○
	利用者へのアンケート調査などを実施し、業務の改善につなげているか	○
利用者等のニーズを把握し、管理運営に反映できているか。	○	
管理経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	○	

評価欄の説明

- ◎：協定等の遵守に加え、指定管理者のノウハウを活かした優れた管理が行われた。
- ：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- △：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- ×：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

■総合評価

市の取り組み成果等	指定管理者である総合スポーツ振興会との連携を密にして、老朽化の著しい施設の情報を的確に入手し、主な目的の一つである施設の改修や修繕が迅速に実施できた。また、スポーツ振興の面においても、本振興会並びにスポーツ各種団体と更なる協働による事業展開を行い、市民へのスポーツ振興が図られた。
指定管理者の取り組み・成果等	当初より継続して、平成26年度においても、老朽化の著しい施設の修復を主な目的として取り組み、できるだけ振興会独自で修繕したことにより、コストを下げた件数を多く、迅速に対応でき、利用者へのサービス向上が図られた。 また、自主事業において、子供のための事業を再検討し小学校に働きかけて「ロープジャンプ大会」を開催したり、健康づくり事業を実施したり年齢に応じた事業展開を行って、成果を上げていく。
今後改善や工夫すべき点等	前2年間は、老朽化の著しい施設の修復を主な目的として実施してきたが、今後は管理体制を整え、受付業務や申請業務などの事務改善などを行うことにより、更なる市民サービスの向上を図る必要がある。
改善に向けた方向性	1年目～2年目は、指定管理者の管理体制の確立と老朽化の著しい13施設の修繕に追われた年度であったが、今後は、新しいスポーツ施設（下里人工芝球技場など）も踏まえた市民サービスの向上やスポーツ振興事業について、新たな取り組みが図られる。

※協定書、仕様書、事業計画書等に基づき、各施設の性質に応じた評価項目を設定してください。